

後藤学長・中国江蘇省 名誉省民に

11月29日江蘇省庁で授与式



発行所
名古屋電気学園
愛知工業大学
愛知工業大学名電高等学校
愛知工業大学附属中学校
名古屋市千種区若水三丁目2-12
TEL (721) 0201



江蘇省人民政府から「榮譽省民」の称号を贈られ、十一月二十九日、南京市の省人民政府庁舎で授与式が行われた。今回の受章は、十年余にわたる東南大学や江蘇省教育委員会との提携交流をはじめ、学術、文化、スポーツなど多様な交流を通じて江蘇省の発展並びに日中両国の友好促進に貢献

した後藤理事長の功績が評価されたもので、外国人に与えられたのは今回が初めて。



授与式は、午後三時半から省政府八階大会議室で呉錫軍・副省長、劉忠徳・中国共産党中央宣伝部副部長、李執中・省人民代表大会常務委員会副主任、章鈺・東南大学長、呉冬華・省政府外事弁公室主任をはじめ省政府主要部局の責任者や各界の代

表ら約二百人が出席して行われた。会場中央には「後藤淳先生、江蘇省榮譽公民儀式」と書かれた大きな横断幕が掲げられ、その前のヒナ壇に後藤理事長夫妻、呉錫軍・副省長らが着席して授与式は始まった。

まず段緒申・省政府秘書長が「後藤先生は長年にわたり中日両国と江蘇省、愛知県の友好に大きな貢献をされました。ここに榮譽公民の証明書を授与します」と公民証明書を読み上げ、引続き呉錫軍・副省長が、これまで学術、スポーツなど多様で、実りのある交流を行って中日友好の推進、発展に大きな貢献をされました。私たちはその努力を高く評価するとともに心から感謝申しあげます。先生が榮譽公民になられたことは、私たちにとても大きな誇りである」と述べた。

このあと、あいさつに立った後藤理事長は「このように名誉ある称号を受け、大変感激するとともに恐縮している。これまで微力ながら日本と中国との友好に力を尽してきたが、決して一人の力でなく、学園の教職員をはじめ多くの方々の協力と支持があったからで、今回の受

章はそういった人たちの代表として私が受けたものと考えている。今後、日中友好をさらに発展させるためにがんばりたい」とお礼の言葉を述べると会場は大きな拍手に包まれた。

引き続き李執中・省人代副主任が後藤理事長に「江蘇省榮譽公民」と染め抜かれたタスキをかけ、さらに呉錫軍・副省長から榮譽公民証書が手渡されたあと理事長夫妻らに省政府の女子職員から花束が贈られて授与式は終了した。

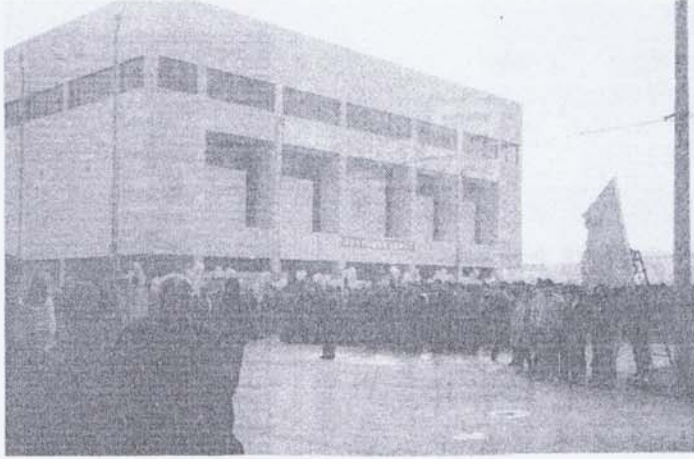
なお、北京で開かれていた会議のため授与式に出席できなかった沈達人・党省委員会書記、韓培信・省人代常務委主任、陳煥友・省長の三要人は、翌三十日夜、宿舎の金陵飯店で後藤理事長夫妻ら代表団を招いて、受章のお祝いとこれまでの貢献をねぎらう宴会を開いた。



省庁舎会議室で行われた授与式

東南大学に 後藤体育館竣工

愛知工業大学が資金協力をし、東南大学に建設中だった体育館が完成、十一月二十九日午前九時半から盛大に竣工式が行われた。



完成した後藤体育館の外観

体育館が建設されたのは、南京市内の東南大キャンパスと揚子江を隔てた北側にある浦口地区新キャンパス。体育館は、明るいタイル張りのスマートな外観。鉄筋コンクリート造りで建築面積は約二、二〇〇平方米。アリーナをはさんで片側は、五〇〇人収容の観客席、反対側は貴賓席と電光表示のスコアボードになっている。

式典は後藤学長ら愛工大代表団をはじめ韋鉉・東南大学長ら教職員、学生の代表、呉錫軍・副省長、劉忠徳・中国共産党中央宣伝部副部長など約千六百人が出席して行われた。

学長が「両大学の友情の結晶として体育館が完成したことを喜んでゐる。後藤先生のこれまでの貢献を称えて、この体育館を後藤体育館と命名し、深い友情を永遠に記念したい」とあいさつ、これに対して後藤学長は「両大学の友情のシンボルとしてこの体育館が十分に活用されることを祈ります」と述べた。

◆竣工記念卓球大会成績

愛工大	2-1	東南大
塩谷 2	21-21	0 謝 穎
鬼頭 1	17-21	2 劉凌雲
鬼頭 2	21-15	0 俞大力
劉凌雲	21-15	
俞大力	21-15	



後藤理事長の名誉省民受章祝賀会が十二月五日夕、本学園主催で名古屋観光ホテル・那古の間で盛大に開催された。出席は揚振亜・駐日中国大使代理の唐家璇公使、鈴木愛知県知事、西尾名古屋市長をはじめ政、財界、教育、スポーツ界などから約三百名。

唐中国公使を迎え 受章祝賀会



祝辞を述べる唐中国公使

め、中日の友好親善の推進に多大の貢献をされた」と功績を称えた。

唐中国公使の唐家璇公使、鈴木愛知県知事、西尾名古屋市長をはじめ政、財界、教育、スポーツ界などから約三百名。

十年前、中国卓球代表団の一員として、名古屋で開かれた第31回世界卓球選手権大会に参加したという唐中国公使からお祝いの言葉が述べられた。

水害見舞金

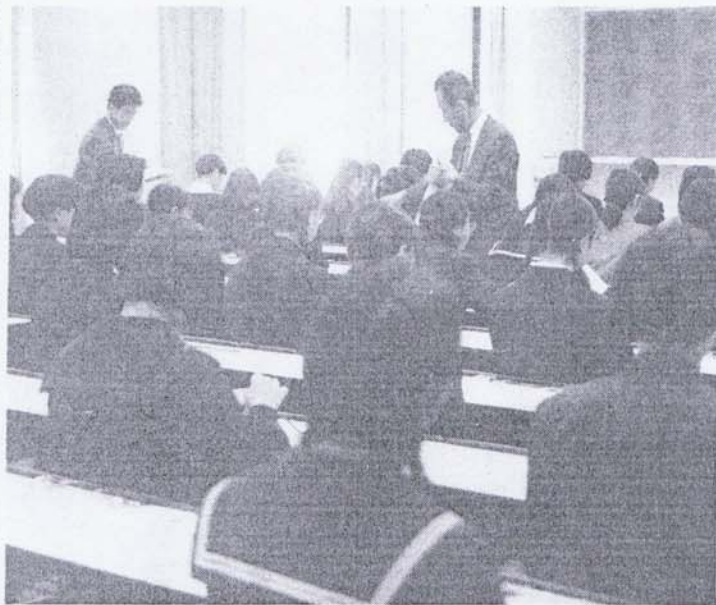
江蘇省・東南大学へ

この夏、江蘇省のある中国中部一帯が大きな水害に見舞われ被災した。大学では義援金の募集活動をし、教職員から四十五万四千七百七十円集まった。これに学園からも拠出して計百万円とし、十月初めに来名した沈才元・江蘇省外事弁公室友好都市処長を通じて、江蘇省と東南大学へそれぞれ五十万円ずつ見舞金として贈り、感謝された。

「中国と後藤家との付き合いは二十年前の先代後藤鍾二先生の周恩来首相との頂上会談により世界卓球選手権大会に国交のない中国チームが参加して以来のもの。このいわゆる「ピンポン外交」が契機となり中日国交回復が成立した。先生ご逝去後、その意志は後藤淳先生に引きつがれ、一九八〇年には南京工学院、現東南大学と姉妹校提携。以来スポーツだけでなく、東南大学、江蘇省と研究員の受入れ、交換教授等、学術・教育・文化の広範な分野について交流を深めた。

最後に、後藤理事長が「今回の栄誉ある受章は私だけでなく、多年にわたりご協力、ご支援いただいた方々をも含めてのものと思います。今後いろいろな面を通して一層日中友好に努めたいのでよろしく」との謝辞を述べた。

つづいて、野崎信義・豊和工業取締役会長の乾杯の首領により開宴。約一時間半、にぎやかな歓談がつづいたあと、竹松学園理事(大学副学長)がお礼の言葉を述べ、盛会のうちに終った。



さあ女子学生特別入試
——緊張して試験開始を待つ女子高校生ら

燃えるキャンパス 紅葉の次は受験生

紅葉「燃える」キャンパスに「燃える」受験生——愛知工業大学の平成四年度入試が始まった。トップを切ったのが十一月十五日実施の第一部女子学生特別入試と普通科推薦入試・特別推薦入試。続いて、十一月二十日には第一部奨学生入試・スポーツ推薦入試、第二部推薦入試（一般・社会人）が行われ、平成四年一月二十九日から三十一日まで三日間の一般入試前期日程の入試でピークを迎える。

そして、一般入試の合格者発表の日。はじける笑顔と歓声。手を取り合って喜びに湧く合格者。例年のことながら、こんな光景が見られるのも近い。

十一月十五日。金曜日。快晴。きょうは女子学生特別入試の日。澄み切った晩秋の青空にアメリカカフーの紅葉がひときわ鮮やか。

大学入試シーズン 一般入試前期日程でピーク

午前九時、チャイムが鳴った。小論文試験開始まで一時間。「おはようございます」元気な声が背後で、はじけた。振り向くと二人の少女。

この夏、清水市から大学見学にやってきた女子高生だった。額の汗をぬぐおうともせず「愛工大へ入りたいんです。エンジン

奨学生入試は二次選考の面接試験が十二月二日に行われて、最終合格者の発表は十二月四日に行われた。

女子学生特別入試等の志願者

午前八時半、静まり返ったキャンパスに受験生の姿が目立つ。赤く染まった木もれ日がホホに映える。

☆ ☆ ☆

工学に関心・興味・適性を持つ多数の女子学生の入学を期待して始まったこの入試も本年度四回目。志願者数は平成元年度

一一八、▽二年度一一三九、▽三年度一一〇四、▽四年度一一三六人と、女子学生の工学ブームを反映してうなぎ昇りに増えている。募集人員に対する競争率をみると、トップが建築学科の九・八倍、続いて建築工学科の九倍、情報通信工学科の五・二倍と、かなりの難関だ。

☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆

試験は午前十時から小論文、午後一時から面接が行われた。小論文のテーマは「三十歳になった時の私について述べなさい」。受験生には予想外の出題だったようだ。

☆ ☆ ☆

合格者発表は、女子学生特別入試・スポーツ推薦入試と第二部の推薦入試は十一月二十七日。

数・合格者数など別表の通り。

普通科の特進クラス

高校では普通科志願者が増加し、大学進学を希望する者が増加している。

このため、平成四年度から、約三十名の「特別進学クラス」を設ける。入試は一月二十九日推薦入試の日に行う。五教科（国・社・数・理・英）と面接。

平成4年度 高校生徒募集

普通科では、従来部活動推薦による女子が各学年十名程度在籍していた。今後女子の増加により男女共学の成果を高めるため、募集人員（三九〇）の二割程度の女子を推薦入試で募集する。入試は三教科（国・数・英）と面接。

女生徒も大幅に増

項目	女子学生特別入試			奨学生入試			スポーツ推薦入試		
	志願者数	合格者数	競争率	志願者数	合格者数	競争率	志願者数	合格者数	競争率
電気工学科	11	11	1.0	27	7	3.9	3	3	1.0
電子工学科	22	12	1.8	43	5	8.6	5	3	1.7
応用化学科	50	20	2.5	49	8	6.1	7	3	2.3
機械工学科	20	9	2.2	83	6	13.8	11	3	3.7
経営工学科	37	21	1.8	51	8	6.4	10	3	3.3
土木工学科	17	7	2.4	26	4	6.5	9	3	3.0
建築学科	98	20	4.9	36	5	7.2	12	3	4.0
建築工学科	45	13	3.5	24	5	4.8	7	3	2.3
情報通信工学科	26	8	3.3	46	7	6.6	4	3	1.3
合計	326	121	2.7	385	55	7.0	68	27	2.5

学園創立七十九周年記念式典 物故者法要

十一月八日 日泰寺で

名古屋電気学園創立七十九周年記念式典ならびに学園教職員、卒業生、学生・生徒物故者法要が十一月八日秋雨降る覚王山・日泰寺で行われた。

永年勤続者 十九名表彰

創立記念式典

学園創立七十九周年記念式典が同窓会(大学・高校)、後援会(大学)、PTA(高校・中学)の役員を迎え、後藤和子学園長はじめ教職員百余名が出席して、普門閣で行われた。

開会の辞に続き、高校吹奏楽部の演奏で、「君が代」が斉唱され、後藤淳理事長が式辞を述べた。

引き続き十五年永年勤続者表彰が行われ、理事長から一人ひとりに表彰状と記念品が贈られた。永年勤続者を代表して、大井孝和教授が謝辞を述べた。

最後に、全員で学園歌を斉唱して記念式典を終了した。

永年勤続者氏名 (敬称略)

(学園)

総務部長・大学事務局長

船戸 高樹



喜びの永年勤続者
普門閣で

管財課係長

矢野 敬典

(大学)

電気工学科助教 依田 正之

経営工学科助教 小田 哲久

経営工学科講師 早川 巖

建築工学科教授 尾形 素臣

建築工学科助教 大井 孝和

建築工学科助教 曾田 忠宏

建築工学科講師 神谷 清仁

建築工学科講師 林 章

教務課係長 佐藤 友泰

教務課事務職員 小島 雅子

入試課係長 宇田 秀樹

機械工学科事務職員 林 葉子

(高校)

教諭 大鐘 一良

教諭 粥川 桂司

教諭 杉浦 滋

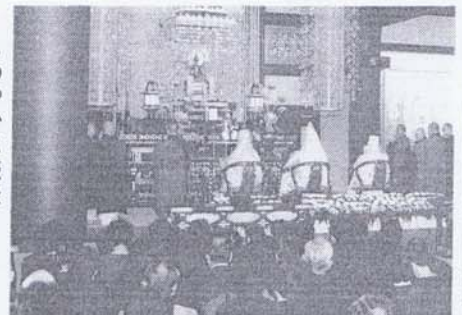
教諭 葉山 尊士

事務長 松本 章二

読経流れるなか ご冥福を祈る

物故者法要

本堂で行われた物故者法要は、ご遺族、同窓会、後援会、PTA、中国研究員、教職員、学生、生徒ら四百余名が参列した。しめやかに読経が流れ、故後藤 二前理事長、故桑原幹根前理事(元愛知県知事)はじめ九十余名の遺族が故人の冥福を祈り焼香した。



しめやかに読経
流れる本堂で

祭主挨拶に立った後藤理事長は「故人の尊い業績を忘れることなく学園の発展に尽くす」と結び、法要を終了した。

ご遺族は時折激しく降る雨のなか、学園バスで覚王山学園慰霊碑に詣で、菊の花で飾られた墓石に合掌した。

今年度、御霊とされた方々
桑原幹根氏(学園理事)
武田一徳氏(学園警備員)
三澤重氏(元学園総務課長)
浅野 清氏(大学客員教授)
清水 泰氏(元大学技術職員)
部谷尚道氏(大学特任教授)
安藤貴志君(大学経営工一年)

大森かおる君(大学機械工二年)
小林宣寿君(高校機械二年)
三戸敏矢君(高校電気三年)
川口雅史君(高校普通三年)

吹奏楽・銀賞二つ 写真・奨励賞、個人入賞三名 陸上・駅伝で活躍!!

〈吹奏楽部〉

十月二十六日東京都・普門閣で行われた全日本吹奏楽コンクール全国大会に出場。課題曲、自由曲の名取吾朗作曲、吹奏楽のための詩曲「アトモスフィア」を演奏し、銀賞を獲得した。

また、本年も十一月二十三日神戸ポートアイランドホールで行われた全日本マーチングフェスティバルに出場したが、こちらも銀賞にとどまった。

〈写真部〉

第5回高校生デザイン・写真コンペティション(主催・中日新聞社)に夏期高山合宿中の作品より十三点を応募。出品作品全体が優秀な学校へ贈られる奨励賞を受賞した。

賞状・クリスタル盾、副賞・ニコンド40Xを授与された。

〈陸上競技部〉

第42回全国高校駅伝競走大会の県予選会が、十一月十日知多運動公園陸上競技場をスタート、市道北浜一号線を折り返す42・195km(七区間)で行われた。

各地区予選を通過した代表42チームが参加。中京高校が三年連続32回目の優勝を飾り、二位は愛知高校、本校は三位(2時15分29秒)となり全国大会に出場できなかった。出場選手は、

- (R) 山崎貴博(中)
- (R) 坂野博明(中)
- (R) 伊藤繁樹(中)
- (R) 吉川晴雄(中)
- (R) 牟田三郎(中)
- (R) 井上善仁(中)

活動 成果みのもる

銀盤の鍵山・オリオン 陸上・フェンシング

「全国」で大活躍!!

—大学—

—高校—

井村 機械工学科教授

紫綬褒章

受賞

平成三年十一月、井村徹・大平学機械工学科教授が「多年金属物理学の研究に努めて優れた業績を挙げ学術の進歩に寄与した」功績により、ミニ文化勲章とも



「これを励みとして、材料の科学と工学に関する研究・教育の場において、一層の精進を重ね、少しでも大学や産業界のお役にたつような成果を生み出してゆこう努力をしてゆきたい。」

言われる紫綬褒章を受章された。多年、金属の構造と性質を研究。自ら開発した「超高圧電子顕微鏡その場実験法」で加

平成三年十一月、井村徹・大平学機械工学科教授が「多年金属物理学の研究に努めて優れた業績を挙げ学術の進歩に寄与した」功績により、ミニ文化勲章とも

を受賞。コピーは世界に百本以上配布され、米マサチューセッツ工科大学や英オックスフォード大学など世界一流大学で使われている。

なお、この四月には、「日本金属学会賞」を受賞している。同教授は、喜びと今後の抱負を次のように語った。

平成三年 秋・春の叙勲

大学関係者 六名 (敬称略)

▲秋の叙勲▼

勲三等瑞宝章
元大学機械工学科客員教授
田島 收

勲三等旭日中綬章
元大学電子工学科教授
井上彌治郎

▲春の叙勲▼

勲四等瑞宝章
元大学学生部次長
堀井 五郎

勲四等瑞宝章
元大学名譽教授・機械工学科客員教授
富永 保夫

勲二等瑞宝章

元大学経営工学科教授
井伊谷綱一

勲三等旭日中綬章

元大学応用化学科客員教授
吉田 高年

学位(博士)取得

(敬称略)

機械工学科助教岩永 弘之
学位名 工学博士
授与年月日 平成3年10月7日
授与大学 名古屋大学
論文題目 ステンレス鋼の3%ZrO₂水溶液中における電気化学的挙動と機械的性質に関する研究

大澤教諭(高校) 私立学校教員表彰

大澤文男・高校教諭は、十月七日、愛知県知事から、私立学校に多年勤続し、学校教育の発展、充実に関して特に功績が顕著であったとして表彰を受けた。

後藤すゞ子先生 奨学金一名受給

去る十月七日、学園本部において、高校普通科二年生二名に、後藤すゞ子先生奨学金記念会会長・後藤理事長から、奨学金が励

しの言葉とともに渡された。父死亡によるもので、同伴の母とともに感激のうちに受領した。今後の学業継続にとって大きな励みとなるであろう。

▲中学ニユース▼ 名古屋短詩型文学祭

中学生の夏休み作品(川柳)が、平成三年度第42回名古屋短詩型文学祭に入賞した。

中日賞 松下 雄介(仰)
東海テレビ賞 加賀 康博(仰)
ひまわりは太陽向いて元氣よく NKF賞 渡辺 浩一(仰)
始業式長い話でくたびれた

この他に逸逸三名、佳作十一名が作品集に掲載され、十一月三日の表彰式で喜びあった。

▲大学ニユース▼ 後援会地区懇談会

十一月九日午後、全体会を愛和会館講堂で。安田会長、伊澤副学長挨拶につづいて、稲垣学生部長の話。後、学科毎に分れて個別懇談。参加者は東海四県始め十二府県から三百四名の一、三年次の父母。四年次は五月、地方は七月に岡山、九月に金沢。

課外 大学 部活動

▲スケート部▼ 鍵山正和君、中部及び東日本のフィギュア選手権に優勝し、全日本への出場権を獲得。来年開催のオリンピック並びに世界選手権での活躍を目指している。

▲卓球部▼ 全日本学生で男子はダブルス・シングルス共に三回戦、女子はダブルス三回戦、シングルス四回戦で今一歩。団体では、塩谷真由美さんが愛知県代表、皆川示智さんが三重県代表で出場、それぞれ二回戦、一回戦で惜しくも敗退。

▲陸上競技部▼ 長距離では、日本海駅伝で全区間トップを一人占めしてパーフェクト優勝。その勢いをかって、全日本大学駅伝に総合で13位。二年前から選手を補強、練習強化してきており、全国の強豪大学を相手に大活躍。

走高跳では、伊藤信二(二年生)君が東海学生で優勝、東海陸上選手権で2位、走幅跳は竹森俊一(三年生)君が東海学生で2位、西日本学生で7位入賞。二はスポー

▲卓球部▼ 全日本学生で男子はダブルス・シングルス共に三回戦、女子はダブルス三回戦、シングルス四回戦で今一歩。団体では、塩谷真由美さんが愛知県代表、皆川示智さんが三重県代表で出場、それぞれ二回戦、一回戦で惜しくも敗退。

▲陸上競技部▼ 長距離では、日本海駅伝で全区間トップを一人占めしてパーフェクト優勝。その勢いをかって、全日本大学駅伝に総合で13位。二年前から選手を補強、練習強化してきており、全国の強豪大学を相手に大活躍。

▲フencing部▼ 関西学生で団体エペ優勝、個人は菊地博則君がサーブル2位、全日本学生では団体フルール・サーブル共に三回戦、個人はエペで横井浩治君が三位で健闘。

高校は、第49 国体強化指定校に昨年度に引き続き、本年度も愛知県選手強化対策本部から指定された。

高校 国体強化指定校 = 7運動部 =

- 特別強化校
バスケットボール部、卓球部
強化拠点校
陸上競技部、バレーボール部、重量挙げ部、相撲部、フェンシング部

学園の秋

体育・文化行事

澄みきった青空の下、高校では「91翔」をテーマに、今年为学校祭が盛大に行われた。

十月二十九日(火)

音楽会(吹奏楽部)、イベント、献血

十月三十日(水)

映画鑑賞会(ライオン・スタジオ)

※クラス展(ハリポタ・大壁画・模擬店・バザー)

※科展 ※クラブ展 ※中学展 「イベント」のカン積み大会は活気に満ちあふれ、普通科二年G



組が26個を積み、堂々優勝した。

「クラス展」普通科一年D組の

高校

91翔 学校祭 球技大会

『牛乳パックはがき再利用』は中日新聞にも紹介され、ひと味違う内容だった。醤油の焼ける匂いのする模擬店、一冊十円の小説からCDまで

のバザー、大壁画、ハリポタ...。楽しさいっぱいの顔々。生き生き動き回る姿

館で吹奏楽一高徳

を魅了した生徒全... 作品(絵画・川柳・工芸、腕書会作品(習字)など力作多数が発表された。各学年コーナーには模擬店など。楽しさにみちあふれた二日間を過ごした。

今年度球技大会(ソフトボール)が十一月

十九日(火)から三日間、秋晴れの春日井総合運動場で繰り展げられた。元気がいっぱい、グラウンド狭しと生徒全員が白球を追って、心地よい汗を額に浮べた。成績次の通り。

優勝		二位		三位	
一年	普 D組	普 E組	電 C組	電 C組	電 C組
二年	機 C組	電 B組	普 E組	電 B組	電 B組
三年	普 I組	機 D組	電 B組	電 B組	電 B組

順位決定は勝率による。勝率が同じ場合は得失点差による。

附属中学校では十月三・四日、体育祭の現地練習が春日井総合運動場で行われ、大会機運はいやがうえにも高まった。

中学 晴れのもと 体育記録大会

六日は無念の雨でやむなく延期。予備日八日もグラウンドコンディション不良のため、秋のピクニックイベント体育祭は残念ながら本年は中止となった。その代りに、秋日和に恵まれた十一月十二日(火)春日井総合運動場で、体育記録会・ソフトボール大会が行われた。



ヨーイッ!!「ドン」スタート=陸上競技場で

「ドン」伊澤副学長の号砲一発、選手権の部の出場選手によって駅伝大会のスタートが切られた。穏やかに晴れた秋の日、紅葉に映える八草の大学キャンパスでは十一月十九日(火)第11回駅伝大会が陸上競技場をメイン会場として繰り展開られた。開会式で、伊澤副学長からの「駅伝大会も最近内容が多様化して参加し易くなった。楽しく一生懸命やって下さい」との激励の挨拶の後、選手宣誓等があった。参加者の体力に合わせて設定されたコース別の参加者数・優勝チームは次の通り。参加者総数七九六名。

コース別(参加者数(優勝チーム))

- 選手権の部 420 競技スキー部 A
- 男子コース部 300 一般整備部
- 女子学生の部 44 卓球女子チーム
- 男子コース部 32 女子陸上競技部

右のほか、大畑小学校の五年児童五十六人の特別参加があった。

表彰式で、優勝チームには学長杯(カップ)、優勝から10位まではメダル(3位まで)や賞品が稲垣学生部長、大会実行委員長代行の建部教授から授与され、最後に稲垣学生部長の挨拶があった。

特に今年は、関係者の努力により参加者が昨年より約二百人増加した。

大学 伝 大 会 祭 典

大学のスポーツ祭典は、大学祭実行委員会が大学祭の一環として行う秋の祭典で、毎年駅伝大会の翌日に行われる。ことは十一月二十日(水)。

祭典は午前あいにく秋雨に見舞われ寒い日となったが、学生は皆元気よく参加した。

種目・参加人数は次の通り。

- ソフトボール 324、サッカー 107、バレー 72、バスケット 84、ドッジボール 109、ゴルフ 76、テニス 123

なお、「おしるこ広場」が設けられ、参加者を喜ばせた。

開校迫る

愛知工業大学情報電子専門学校

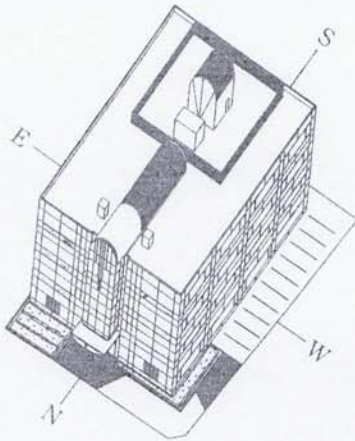
来春四月開校めざして建設が進む愛知工業大学情報電子専門学校概要をお知らせします。名鉄三河線の梅坪駅と豊田市駅の間、東側の線路近くに、四層吹き抜けのアトリウムを持

つ四階建ての校舎が見える。屋上にドーム型のトップライトのある建物である。平行して走る愛知環状鉄道の新豊田駅からも近い。

交通案内図



校舎外観(上方から)



敷地面積 1,861.5㎡
敷地面積 986.4㎡
校舎延べ面積 3,688.4㎡

所在地 豊田市陣中町一丁目21番1

(1) 課程・学科・定員等

- 修業年限二年 ● 昼間
- 秘書コースは女子のみ。

課程	学科	コース	入学定員	総定員	学級数
専 門 課 程	工 業	情報処理	80	160	4
		システムエンジニア	80	160	4
	電子機械科	電子制御	40	80	2
		CAD/CAM	40	80	2
商 務 課 程	ビジネス情報	秘 書	40	80	2
		経営情報	40	80	2
合 計			320	640	16

(2) 平成四年度入試

推薦入試と一般入試、二種類で実施する。

推薦入試の出願資格は平成四年三月高校卒業見込みの者で、出願要件の学力水準は各教科・科目の評定平均値の平均が3.0以上。その他、高校での出席状況良好、目指す分野での学業習得の意欲、本校専願を要件とする。入試は面接試験。選抜はその結果と書類審査による。

一般入試は筆記試験(基礎学力)・面接試験。

第一次募集は推薦入試で十二月二十二日(日)に行われた。(その結果は第二次・第三次募集結果とともに後日まとめる)

高校制服など改定

男女ともブレザー

シヨルダーバッグ・革靴

平成四年度新入生から



現行の制服は長い歴史の中で培われてきた校風や教育理念によって、そのスタイルを磨きあげ、また時代の推移とともに、その時々デザインの吸収し進歩を遂げてきた。

制服等検討委員会で、時代の進展、社会の変化をふまへ、高校生らしさを基盤に、気品と若さを兼ね備え、国際化にも対応でき、本校生徒にふさわしく、憧れの対象となる制服を追求してきた。その結果、平成四年度入学生から、男女の冬の制服など

以後の入試日程は次の通り。

第二次募集(推薦入試・一般入試)

(出願) 12/14(日) (試験) 12/15(日)

第三次募集(一般入試)

(出願) 1/14(日) (試験) 1/15(日)

合否結果は各試験日から二週間以内に本人宛郵便で通知。

なお、願書提出先は愛知工業大学広報課内・本校入学試験係。

入学試験場は愛知工業大学。

海外含め

百二十人の学者集まる

静電気学会全国大会

— 本学で —

第15回静電気学会全国大会は十月二十九日から三日間、本学で開かれ、海外も含め約百二十人の学者、研究者が参加した。學術講演会は、電気学会、応用物理学会、高分子学会など総計二十の学会協賛の形で行われ、一般講演は百十九件にもわたった。内容も多岐にわたたり、静電気に対する関心の深さ、裾野の広さを物語るものとなった。

会場は熱気にあふれ、活発な質疑が行われたが、本学電気工学科の渡辺茂男助教グループの「ディーゼル・エンジンのパーティキュレート捕集」はディーゼル車の排ガス浄化対策として注目を集めそうだ。この研究は「高電圧で排ス回収、脱公書マフラー開発」と、広く新聞各紙にも報道された。

一般講演の他に宮地巖・本学教授による「雷放電と電力気象」、G・TOUCHARD・P OITIERES 大学教授による「LNGタンカーにおける静電気帯電現象」の特別講演も行われた。

学校生活の快適を求め

改装工事進む

大学

愛和会館内の食堂と学生ホールの改装を行い、食事と憩いの場として学生から好評を得ている。

昼食時、この「食堂」を利用する学生が増加し、混雑が目立ってきた。これを緩和するため、食堂内の売店を学生ホールに移転、座席を七十席増し、総計五百十席とした。同時に、食器返却コーナーを清潔感のある「ベルトコンベア」方式に改修し、給茶器四台を新設、全体の流れをスムーズにした。

「学生ホール」は、テーブル・



由比乃ちゃんへの

募金活動

▲生徒会▼

名古屋電気高校卒業(昭和55)の野邑哲夫氏の長女由比乃ちゃん(三)は先天性胆道閉鎖症という難病で、肝硬変や骨軟化症を併発、オーストラリアでの肝臓移植が必要とのこと。

生徒会は募金活動を行い、十一月十一日募金三十二万八千四

共済だより

◆標準給与定時決定に伴う掛金の改定について

このことについては既に回覧でお知らせしましたが、共済組合の「定時決定」により、標準給与が変更となる方の掛金額(給与明細書の「共済短期」及び「共済長期」欄に計上)が、十月から改定されました。

高校

中学が使用していた南館三・四階を高校が使用するため、三階に普通科職員室・女子更衣室設置の改修工事、さらに三・四階の他の教室の内装工事をした。

百四十八円を「由比乃ちゃんを救う会」に送った。移植が成功、元気をとり戻すことを心から祈りたい。

普通科 二年三浦喜久夫君

計算技術検定一級合格

第25回計算技術検定試験(十月九日、全国工業高校長会主催)で、三浦喜久夫君(普通二年)が難関の一級に見事合格した。

同君は昨年十一月三級に、本年六月二級に合格している。すべて初挑戦で栄冠を勝ちとった。

- ◆住宅貸付 一〇〇万円→一四〇〇万円
- ◆教育貸付



告知版

◆普通退職

平成三年十月三十一日

大学学生課主任 佐藤 寿洋

◆死亡退職

平成三年十月十八日

大学機械工学科特任教授 部谷 尚道

訃報

謹んで弔意を表します

大学機械工学科特任教授

部谷 尚道氏

10月18日、肝硬変のため大阪府枚方市・新香里病院で逝去されました。70歳。

一診療機関ごとに分けて、翌年度の四月十五日までにお願います。審査の上、八月給与で支給します。

「私学共済組合」に関することは、何なりとお問い合わせ下さい。(学園総務課共済組合担当)

お目出た

結婚

九月二十四日

大学建築工学科 林 章さん 美保さん

学園人事

住所変更

昭和61年3月、福井大学を定年退職。昭和63年4月本学教授に就任され、平成3年3月定年退職、同年4月特任教授に就任されました。

高校 藤尾健一郎

名古屋千種区向陽町二二〇

電話五三二七三二一五〇

学園会計課 伊藤 昌典

名古屋市東区砂田橋三二二

電話五三二七三二一五〇

学園用度課 中村 静

名古屋市守山区町北四一五

ライオンズマンション

鳥羽見三号

編集後記

年の瀬も迫りました。本年度三回目の「学園広報」。第一、二面に、「学長・江蘇省名誉民」称号授与式と関連記事、「井村教授・紫綬褒章受章」「永年勤続者表彰」等、お目出たいニュースをお届けしました。「開校迫る愛知工業大学情報電子専門学校」―総合学園としての厚味が増す、その概要をお知らせしました。では、よい年をお迎えのほどお祈りします。